

報道機関各位

熊本大学

**がん医療水準均てん化推進事業 / 研究成果発表等普及啓発事業
～ 消化器癌治療の最前線～**

近年、消化器領域（食道、胃、大腸、肝臓、膵臓など）でも検診や内視鏡検査を中心とした診断能の向上によってがんの早期発見、治療が可能になってきました。有名タレントのがんのニュースなどで各種メディアに取り上げられる機会も多く一般の方々の関心が高い分野でもあります。今回は頻度の高い胃癌、大腸癌、肝癌なども含めた消化器癌全般の医療の最前線を、診断から治療まで夫々のエキスパートから分かり易く説明していただきます。内視鏡治療、腹腔鏡手術、分子標的薬など現在話題となっている治療の実際の内容や効果など最新の話題が提供できると思います。今やがんは我が国の死因の第一位であり、その6割を消化器癌が占めています。がんについての研究が進み、がんの危険因子などもわかってきました。早期発見できれば治癒まで至ることも可能です。この機会に消化器癌についての最新の知見を得てみませんか。

広く一般の方へお知らせいただくとともに、当日の取材をよろしくお願い致します。

記

【日時】平成23年1月8日（土）14：00～16：30

【場所】熊本県立劇場演劇ホール（熊本市大江2-7-1）

【対象】一般市民（興味があるかたはどなたでも）

【参加費】無料

【申込方法】不要　ご意見・ご質問がある方は下記までハガキかFAXでお送り下さい。

〒860-8556

熊本市本荘1-1-1　FAX：096-371-4378

熊本大学大学院消化器外科学 事務局 宛

詳しくは別紙チラシをご覧ください。

【お問い合わせ先】

〒860-8556

熊本市本荘1-1-1

電話：096-373-5211

熊本大学大学院消化器外科学事務局

担当：堀野 敬，千馬さやか

平成 22 年度研究成果等普及啓発事業(一般向け発表会)

消化器癌治療の最前線

参加費
無料



2011年1月8日(土) 午後2時～4時30分(午後1時受付開始)

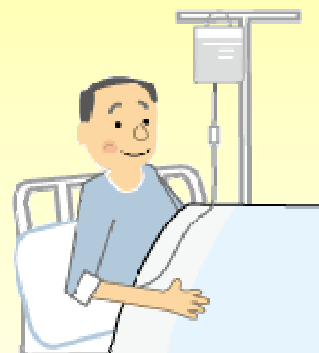
熊本県立劇場演劇ホール 熊本市大江2丁目7-1 096-363-2233

近年、消化器領域癌は検診や内視鏡検査を中心とした診断能の向上によって早期発見、治療が可能になっておりマスメディアに取り上げられる機会も多く、一般の方々の関心が高い分野でもあります。今回は、頻度の高い胃癌、大腸癌、肝癌なども含めた消化器癌全般の最新の医療を夫々のエキスパートから分かり易く説明していただきます。



【第一部】講演(消化管) 座長：渡邊雅之(熊本大学消化器外科 講師)

- 1:食道癌治療の最前線 馬場祥史(熊本大学消化器外科 特任助教)
- 2:胃癌治療の最前線 岩槻政晃(熊本大学消化器外科 助教)
- 3:大腸癌治療の最前線 宮本裕士(熊本大学消化器外科 医員)



【第二部】講演(肝胆膵) 座長：別府 透(熊本大学消化器外科 准教授)

- 1:胆道癌治療の最前線 近本 亮(熊本大学消化器外科 助教)
- 2:膵癌治療の最前線 橋本大輔(熊本地域医療センター外科 医員)
- 3:肝癌治療の最前線 小森宏之(熊本中央病院外科 医員)

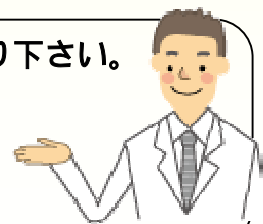


【第三部】総合討論 司会：馬場秀夫(熊本大学消化器外科 教授)

当日、講師へのご質問がある方は下記までハガキかFAXまたはメールでお送り下さい。

熊本大学消化器外科 〒860-8556 熊本市本荘 1-1-1

FAX 096-371-4378 Mail : shoukaki@fc.kuh.kumamoto-u.ac.jp



主催：熊本大学大学院消化器外科学 共催：財団法人 日本対がん協会

後援：熊本県医師会 熊本市医師会 熊本日日新聞社 (株)熊本放送